

保育園自己点検・自己評価

評価実施日：令和8年3月

A:できている B:努力中 C:改善したい点がある

(園長・副園長等)

	評価項目	評価			意見・課題等
		A	B	C	

(1) 園の組織と運営に関すること

1	職員の共通理解のもと、保育の全体的な計画を明確にし、園児・保護者・地域の実態や実情に応じた保育目標となっているか。	○			園の運営については、今年度も保護者アンケートのご意見・ご要望をもとに、改善や検討を重ねてニーズに応じられる努力をしているところである。園内研修や会議で職員にその都度周知し、共通理解のもと取り組んでいる。
2	明確な目標をもって職員会議が運営され、職員の共通理解のもと、機能的に組織運営がなされているか。	○			
3	事故等緊急事態に対する安全対策及び、対応マニュアルの整備がなされているか。	○			
4	保育目標や方法等を共通理解し、組織的な園内研究の推進に努めているか。	○			

(2) 保育内容とその展開に関すること

1	各年齢ごとの重点目標を明確にし、具現化した保育計画の編成・実施がなされているか。	○			各職員の工夫や努力が月週案にも見られ、クラス会議や園内研修で子ども一人ひとりの発達や課題について話し合い、日々の保育を工夫して取り組む姿が見られる。園長・副園長・主任・保育士の情報共有や連携がしっかりできている。魅力ある環境構成へ近づけるよう、各職員と改善し続けたい。
2	全体的な計画を見通した道徳性の芽生えを培う保育や、幼児期にふさわしい知的発達等を促す教育が推進されているか。	○			
3	幼児の実態や育ちをとらえ、ねらいや内容を設定し、計画的に実践しているか。	○			
4	一人ひとりの子どもの心に寄り添い、良さを認め伸ばす、きめ細やかな指導に努めているか。	○			
5	幼児にとって主体的な生活態度や創造性思考を促すような、魅力ある環境構成がなされているか。		○		

(3) 健康管理・食事に関すること

1	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映されているか。	○			今年度は食物アレルギーマニュアルを見直し整備し、園内研修で職員周知や保護者面談を取り入れ連携をしっかりとこなしている。子どもが食事を楽しむことができるよう、調理も一緒に食育を盛り上げていきたい。
2	感染症の対応については、発生に状況に応じて保護者、全職員に連絡しているか。	○			
3	アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っているか。	○			
4	子どもが食事を楽しむことができるように工夫しているか。		○		

(4) 保育環境に関すること

1	保育室・遊戯室・園庭等は保育士の創意を生かした環境整備が行われているか。	○			地域の自然や公共施設・散歩など、環境を活かした保育活動を行っている。保育士が常に保育環境を見直し、工夫しながら保育を展開している様子が見られる。発達支援児に配慮した環境設定は、活動や時間帯に応じて細やかに工夫されている。園地・園舎の整備については職員の協力体制をどのようにするか、保育業務の見直しをし検討が必要。
2	幼児がイメージを広げたり刺激されたりする素材や遊具等の環境が工夫され、活用できているか。	○			
3	職員が協力して園地・園舎の整備・管理に当り、定期的に点検を行っているか。		○		
4	地域の自然環境や公共施設を把握し、有効に活用しているか。	○			
5	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか。		○		
6	発達支援保育児のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか。	○			

(5) 子育て支援に関すること

1	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。	○			個人面談を希望者に実施し、内容に応じては記録されている。
2	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されているか。	○			

(6) 家庭や地域との連携に関すること

1	小学校と定期的に交流したり、保育内容や児童・幼児等の理解を行ったりしているか。	○			保護者アンケートで意見を取り入れ、改善すべき点を明確にして改善している。定期的に小学校授業参観や意見交換に参加している。西原まつりやさわふじマルシェ等の地域のイベントや活動にも積極的に参加できた。
2	保護者や外部評価等の意見を取り入れ、保育活動に生かしているか。	○			
3	保育を公開したり、地域の行事に参加したりして、保護者や地域住民の理解や協力を得て、開かれた保育園づくりを行っているか。		○		

(7) 安全確保への取り組みに関すること

1	あらゆる場面を想定しての危機管理体制の共通理解が図られているか。	○			園内研修でヒヤリハット事例を共有し、全職員で共通理解し意識を強めた。火災は毎月、災害・不審者については各月で避難訓練を取り入れ、職員が瞬時に対応できる体制作りをしている。地域警察との情報交換を必要に応じておこない、注意が必要な際には保護者へ情報共有している。
2	外部からの侵入に対する対策がとられているか。	○			
3	幼児に、見知らぬ人や挙動不審な人に出会った際の対応について指導されているか。		○		
4	警察等との連携を図り、地域パトロールや情報交換の協力をお願いしているか。	○			